

# ふれんど通信

編集・発行 / 社会福祉法人 椎原寿恵会  
障害者支援施設 かせだフレンドホーム 広報委員会  
〒897-0004 鹿児島県南さつま市加世田内山田 2580 番地  
TEL (0993)52-4088 fax (0993)52-4080  
ホームページ <http://www2.synapse.ne.jp/k-friend/>

2013  
vol.23



## 秋の一日遠足 動物園

### 新管理者あいさつ

九月より管理者に就任いたしました上野信也でございます。八月までは隣のケアハウスかせだに勤務しておりましたが、高齢者福祉から障害者福祉への転換で、社会福祉の中でも現在も制度的に変化している分野と認識しています。制度が充実し、必要なサービスが利用できるようになり、一見、世の中が住みやすく長生きできると思われがちですが、問題を多く抱えています。制度を支える資金、応能負担の利用料、制度間にまたがる問題等。適正な制度で上手に利用することが大切だと考えます。利用者の生活の場であることを念頭に置き、目線を合わせ、意向を把握しながら、施設のできる範囲で皆様のお役に立てればと思っております。今後とも関係者皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

### 認知症対応型通所介護事業 「遊逢」

「地域の中で馴染みの人たちと、変わらない環境で暮らしたい」という方のお手伝いがしたいので、十一月に、より専門的で思いやりを大事にしたケアを提供できる事業所として「遊逢」をオープンしました。

● 最近、思い出せないことが増えたなど、不安なことがありましたらご相談ください。

### \*行事予定表\*

平成26年1月

- \* 初詣
- \* 茶話会
- \* 買い物外出

2月

- \* 節分豆まき
- \* 茶話会
- \* 買い物外出

3月

- \* 茶話会
- \* 買い物外出

### 編集後記

#### 「相談支援事業所 彩」

平成26年より椎原寿恵会でも相談支援事業を開始することになりました。相談支援事業所ではサービス等利用計画を作成する他、さまざまな相談や心配ごとに対応する業務を行います。

事業所名は「彩」です。地域で過ごされる日々の中で、たくさん色を取り入れた彩のある生活を送っていただきたいとの願いが込められています。

障害福祉サービスを利用したい、制度がわからないなど、どんな小さな相談でもかまいませんのでお気軽にお声かけください。お待ちしております。

(石原)





# 行事



楽しかった  
動物園



フレンドホ  
ーム開設年以

来の平川動物園への遠足でした。懐かしそ  
うに、また新しくなった動物園に驚きなが  
ら皆さん楽しまれました。



# 報告

## 夏の思い出 納涼大会



外でかき氷を食べた  
り、小さな子どもたち  
がたくさん来てくれた  
りしてにぎやかでした。  
思いで深い時間を過ご  
すことができました。  
(内之倉氏)

毎年恒例の納涼大会  
が今年も盛大に開催さ  
れました。東日本大震  
災復興支援ソングの発  
表や大正琴の演奏など  
に耳を傾け、最期には  
内山田の夜空に花火も  
打ち上げられました。  
ご家族や地域の方々  
の楽しいひとときとな  
ったでしょうか。

### わたあめ



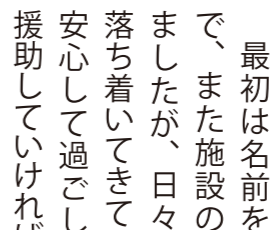
## フレンドカップ ふうせんバレー

第三回フレンド  
カップふうせんバ  
レー大会が行われ  
ました。慣れてい  
る人も、そうでな  
い人も協力して優  
勝目指して頑張り  
ました。被り物や  
装飾で各チームの  
色がでていまし  
た。



初めて参加しま  
した。みんな上手  
くてびっくりしまし  
たが、最後には優  
勝できて嬉しかった  
です。また頑張り  
たいです！(神野氏)

## 新人職員のご紹介



樋園 隆洋

・職種  
理学療法士  
・趣味  
音楽鑑賞

鳥原 志保

・職種  
看護師  
・趣味  
旅行

加藤 仁美

・職種  
事務員  
・趣味  
音楽鑑賞

最初は名前を覚えるのに必死  
で、また施設の広さにとまどい  
ましたが、日々を重ねることに  
落ちついてきているところです。  
安心して過ごしていただくよう  
援助していければと思います。

皆様のお力になれるように笑  
顔で頑張ります。よろしくお願  
いします。

利用者の皆様や職員の方々に  
教えていただきながらお一人お一  
人に合ったリハビリを提供できる  
ように頑張っていきたいと思いま  
す。よろしく申し上げます



## 防災避難・消火訓練

避難訓練を実施しました。世界的にみ  
ても、火災だけでなく大規模な天災が各  
地で発生しています。  
様々な災害を教訓として、気を引き締  
めて日々の支援に励みたいと思います。

